

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-001	60×85	アルミ製	米軍の砲爆撃で無残に崩壊した那覇市街。			771
B-001-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
B-001-3	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
B-002	60×85	アルミ製	砲爆撃で全て消え去った那覇の中心街。中央は天妃の校舎で、右上隅に僅かに見えるのが上之山の校舎。			
B-002-2	60×85	アルミ製	〃	〃	〃	
B-003	44×55	アルミ製	沖縄上陸に向け、無差別に艦砲射撃を浴びせる米艦。		3月30日	360
B-004-1	53×74	アルミ製	慶良間列島、渡嘉敷島を攻撃する米艦。			758
B-004-2	62×83	木製	〃	〃	〃	
B-004-3	42×53	木製	〃	〃	〃	
B-005	60×85	アルミ製	4月14～18日、連合艦隊は菊水3号作戦を発動し、沖縄特攻攻撃をかけた。米軍も雨のような砲火を浴びせ応戦。このころの日本軍の作戦はほとんどが特攻攻撃であった。		読谷飛行場4月 (常設展示)	132
B-005-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
B-006	43×60	アルミ製	日本軍の狙撃兵を求めて那覇市内をパトロールする米海兵隊。			64
B-006-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
B-007	60×85	アルミ製	上陸する米兵。			

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号
B-008-1	60×85	アルミ製	読谷海岸の浅瀬を上陸する海兵隊員。	4月1日	19
B-008-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
B-009	46×56	アルミ製	住民が米軍の軍需品を横領することを「戦果」と称した。米軍にも割に寛大だったが、武器にはうるさかった。その「戦果」を捜索する米軍。	1945年6月7日 金武村	114
B-011-1	90×60	アルミ製	頑強に抵抗した日本軍狙撃兵のいる首里の教会に突入する米兵	6月6日	267
B-011-2	53×42	木製	〃	〃	〃
B-011-3	56×46	アルミ製	〃	〃	〃
B-013	43×60	アルミ製	荒廃した首里城とその周辺の様子。	5月29日	269
B-014	44×55	アルミ製			
B-015	60×85	アルミ製	鉄道駅舎の残がいと休息する兵士。	(常設展示)	267
B-016	53×74	アルミ製			

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-018	53×74	アルミ製	戦車の陰にかくれる兵士。			
B-019	43×60	アルミ製	日本軍から奪ったTNT火薬を使って、日本軍壕を爆破する米陸軍部隊。		4月20日	43
B-020	60×85	アルミ製	那覇市にある自然壕の入り口で、小銃を構えて出てくる日本兵を待つ米海兵隊員。防衛線として構築された堅固な地下壕陣地は、「リトル・ジューグフリート」という名称で呼ばれていた。			52
B-021	60×85	アルミ製	米海兵隊は、5月には那覇方面攻略を命じられ、圧倒的なその力で日本軍を押しまくった。那覇市内では、民家を問わずしらみつぶしに狙われた。		5月1日	58
B-021-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-021-3	52×75	アルミ製	//	//	//	
B-022	53×74	アルミ製	夜空を照らす無数の米軍照明弾。		沖縄本島南部	
B-023	53×74	アルミ製	破壊された民家。			
B-023-2	60×85	アルミ製	//	//	//	
B-024	53×74	アルミ製	南部与座で、民家を焼き払う米兵。		6月21日	83
B-024-2	43×60	アルミ製	//	//	//	

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-025	60×85	アルミ製				
B-026	44×55	アルミ製	日本兵や住民がいないか墓を探索する米海兵隊員。	5月	543	
B-027	53×74	アルミ製	那覇市高橋町にある墓で全滅した家族。	5月	545	
B-028	53×74	アルミ製	墓を探索する米兵。			
B-028-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-029-1	60×85	アルミ製	日本軍が陣取っていると思われる自然壕に手提げ弾を投げ込む米兵。	6月12日 (常設展示)	230	
B-029-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-030	60×85	アルミ製	金武村にある洞窟の入り口を、米第165歩兵連隊の兵士が火炎放射器で焼き払う。	6月7日 金武村	113	
B-031	44×55	アルミ製				

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-032	53×74	アルミ製	火炎放射で洞穴入り口を焼き払う米兵。			
B-033	53×74	アルミ製	火炎放射で焼き払う米兵。			
B-034	60×85	アルミ製	日本兵のいる壕に向け火炎を あびせる米軍戦車。 本島南部の海岸線での米軍の 敗敵掃討作戦の様子。		6月25日 (常設展示)	85
B-034-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-035-1	43×60	アルミ製	米軍に頼まれて、沖合いの上 陸用舟艇から日本軍に降伏を 呼びかける沖縄県民の 一人。沖縄本島南端の摩文 仁海岸。		6月22日 摩文 仁	247
B-035-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-035-3	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-036	60×85	アルミ製	首里城城壁から見る廃墟と化し た首里市街。		6月18日	270
B-037-1	43×60	アルミ製	日本軍の造った木製“オトリ戦 車”を見る米兵。		4月 (常設展示)	164
B-037-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-038-1	44×55	アルミ製	与那原の日本軍陣地に設置さ れた木製オトリ砲。			166

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号
B-038-2	42×53	木製	//	//	//
B-039	60×85	アルミ製	読谷飛行場内にあった日本軍のオトリ飛行機。	4月3日	405
B-040	46×56	アルミ製	与那原のサルベージに集められた、大量の空の真鍮の葉莖。	6月27日	280
B-040-2	42×53	木製	//	//	//
B-040-3	43×60	アルミ製	//	//	//
B-041	53×74	アルミ製	5月頃の沖縄海上で、日本軍特攻機の攻撃を受けて炎上する米正規空母「バンカーヒル」。	5月頃の沖縄海上	
B-041-2	43×60	アルミ製	//	//	//
B-042	44×55	アルミ製	通称“トンボ”と呼ばれた米軍偵察機。その下は廃墟化した那覇市。		253
B-042-2	43×60	アルミ製	//	//	//
B-043	43×60	アルミ製	日本軍の海上特攻艇。本部半島の西部で見つかった。	6月	136
B-044	42×60	アルミ製	嘉手納飛行場の周辺には、無数の竹製オトリ機が配置された。		165
B-045	42×60	アルミ製	崖の中腹にある自然壕。		

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-046	42×60	アルミ製	地上部隊支援のため、ロケット弾を発射する米海兵隊の「コルセア」戦闘機。			18
B-047	53×74	アルミ製	東風平村富盛の大石彫獅子(現存)を弾よけにしながら、南前方の八重瀬岳攻略戦を展開する米軍。		6月18日	81
B-048	60×85	アルミ製	米軍に洞窟から救出される住民たち。			
B-049	60×90	木製	煙をあげる艦隊。			
B-050	60×85	アルミ製	煙幕弾と小銃弾に追われ、砂糖キビ畑から、手をあげて出てきた日本兵。		6月13日 本島南部	226
B-050-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
B-051	60×85	アルミ製	脱出をはかる日本兵を、米軍戦車の火炎放射が焼きつくす。		6月15日	78
B-052	42×60	アルミ製	上陸軍を掩護射撃する米戦艦「アイダホ」			124

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号
B-053	43×60	アルミ製	与那原にある洞穴陣地で破壊された日本軍の大砲。	5月30日	174
B-054	42×60	アルミ製	義烈空挺隊。		
B-055	43×60	アルミ製	戦車での攻撃を行い、そのあと米兵が突入し、しらみつぶしにつぶしていく。	5月11日	54
B-056	45×55	アルミ製	米軍は那覇市占領後、波の上神社鳥居付近に野戦病院を置いた。	6月18日	256
B-057	60×42	アルミ製	昭和20年3月、米第58機動隊は九州にある日本軍航空基地を攻撃した。九州南海上で日本軍特攻機の攻撃を受けた空母“フランクリン”。		
B-058	60×42	アルミ製	艦砲による海からの攻撃。		
B-059	60×42	アルミ製	炎を吐いて海へ落下する神風特攻機。その中には炎上しながらも米艦に体当たり攻撃を敢行するものもいた。		
B-060	45×55	アルミ製	県物産館にこもり、抵抗する日本兵を砲撃。	5月29日	475

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2


重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-061	45×55	アルミ製	上陸地点沖合のサンゴ礁を爆破し、水路を深くする海兵2連隊。			20
B-062	90×60	木製	上陸地点の読谷・嘉手納海岸に向けて進む米上陸用舟艇。			4
B-063	43×60	アルミ製	渡嘉敷島阿波連の海岸を熾烈な砲撃で攻撃する米軍		3月27日	
B-064	43×60	アルミ製	波之上付近から見える、10・10空襲で燃える那覇港方面。			
B-065	60×90	アルミ製	首里城の下方、当之蔵にあるキリスト教会では日本軍狙撃兵が頑強に抵抗、容易に落ちなかった。			72
B-65-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-65-3	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-066	43×60	アルミ製	米軍戦車に無惨にも破壊された日本軍の軽戦車。		6月14日 八重瀬岳	175
B-067	43×60	アルミ製	火炎放射攻撃をする米軍戦車。			

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-068	53×42	木製	上)魚雷を発射した米軍潜水艦 ボーフィン号がとらえた対馬丸 の最後の姿。 下)その11分後に沈没していく 対馬丸。			
B-068-2	53×74	アルミ製	//	//	//	
B-069	42×53	木製	特攻兵器「桜花」。乗員1人 の木製機で双発の爆撃機で運 ばれ、目標近くで離され、 小さなロケット・モーターで進 む。			135
B-069-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-070	43×60	木製	6月28日、摩文仁が丘巖頭に 立てられた牛島司令官、長勇 参謀長の墓前に立ち、 じっと見つめる 日本兵捕虜。		6月28日 摩文 仁	138
B-070-2	43×60	アルミ製	//	//	//	
B-071	60×90	木製	砲煙弾雨に煙る中部戦線。必 死に抵抗する日本軍陣地に対 して 火炎放射器を浴びせる米軍。		5月6日	98
B-072	53×74	アルミ製	読谷飛行場に強制胴体着陸し た97式重爆撃機二型。			128
B-073	54×43	アルミ製	伊江島の公益質屋跡。			
B-073-2	45×55	アルミ製	//	//	//	
B-074	43×60	アルミ製	上陸を前にすさまじい砲爆撃に さらされる伊江島を眺める米 兵。本島北部。			122

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-075	46×55	アルミ製	日米の死闘が展開された伊江島は、海上遠方からはまるで航空母艦に見えたという。			516
B-076	43×60	アルミ製	火炎放射器で沈黙させたあと突入しようと待機している伊集、和宇慶方面を担当した米第7歩兵師団。			44
B-077	43×60	アルミ製	首里城下の沖縄守備軍第32軍司令部壕にある司令官室。			75
B-078	43×60	アルミ製	輸送船団から上陸し展開する戦車隊。嘉手納沖。		(常設展示)	371
B-079	42×60	アルミ製	40ミリ高射砲で艦隊を援護する米軍		6月24日	16
B-080	43×60	アルミ製	慶良間チージ(頂上)と呼ばれるシュガー・ローフ			254
B-081	43×53	木製	日本軍の狙撃兵も死力を尽くしたが、火には敵すべくもない。		4月13日 (常設展示)	39
B-081-2	43×53	アルミ製	〃	〃	〃	〃
B-082	43×60	アルミ製	山稜を攻撃する米第713火炎放射戦車中隊。		5月17日	104


重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-083	42×60	アルミ製	県庁内側から見た那覇署と那覇市内。			446
B-084	43×60	アルミ製	那覇市に突入した米海兵隊は日本兵からの狙撃を避けながら、民家から民家へ走り抜け進撃した。		5月13日	61
B-085	60×85	アルミ製	見るも無惨な姿に変わり果てた首里。		6月6日	268
B-085-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
B-086	43×60	アルミ製	戦火にさらされ、面影もなくなった首里城跡		6月26日	271
B-087	43×53	木製	那覇に通ずる橋は米軍の侵攻を遅らせるために退却した日本軍によってすべて爆破された。		5月10日	56
B-088	43×60	アルミ製	銃弾の犠牲になった住民。奥に見えるのは日本軍のオトリ砲。		6月16日	564
B-089	42×53	木製	比謝川河口。米軍が作戦名イエロービーチと呼んだ渡具知で補給物資が陸揚げされる。左手に見えるのは日本軍の燃料ドラム缶。			31

沖縄戦写真パネル(戦闘状況)

別紙2

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
B-090	43×53	木製	嘉手納飛行場から上陸地点となった水釜、野国、砂辺海岸。海上にはおびただしい数の艦船が見える。		6月4日	275